

環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会  
 (事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 25 年 7 月 23 日

## 検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

<b>対象プロジェクト名</b>		
国境の島対馬市の市有林における大陸とのつながりを示す多様な生態系の保全のための森林吸収プロジェクト ～連環した森・川・里・海の再生による環境王国・対馬の確立を目指して～		
<b>GHG 検証機関</b>		
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。		
機関名	一般財団法人 日本品質保証機構 (JQA)	印
担当部署名	地球環境事業部	
責任者名	常務理事 矢野 忠行	
責任者 E-mail	yano-tadayuki@jqa.jp	
責任者電話番号	03-4560-5600	
審査員名 <sup>i</sup>	検証担当者 : 野村 祐吾(検証チームリーダー) 外部専門家 : なし レビュー担当者 : 浅川 健一(テクニカルレビュー、プロセスレビュー)	
機関要件への合致	合致	
<b>検証結果</b>		
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver. 2.2	
事業者との契約日	2013年6月28日	
モニタリング報告書受領日 <sup>ii</sup>	2013年7月3日	
検証報告書発行日	2013年7月23日	
現地審査	期間	2013年 7 月 17 日～ 2013年 7 月 18 日

		デスクレビュー(フェーズ1検証)の結果に基づき、プロジェクト事業者等に対するヒアリング、記録及び現地確認(フェーズ2検証)を行った。検証ポイントは以下の通りである。 <GHGデータ及び情報> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクト活動に関係するすべての吸収・排出活動</li> <li>・ プロジェクト対象地の永続性</li> <li>・ パラメータの引用</li> <li>・ 活動量データ並びに算定に必要なデータ</li> <li>・ データの集計結果</li> <li>・ 吸収増大量の算定結果</li> </ul> <QA・QC体制> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニタリング体制及び算定体制</li> <li>・ モニタリング担当者の力量</li> <li>・ データチェックの実施状況</li> <li>・ 計測機器の管理状況</li> </ul>				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2	—	—	—	—	363
検証結果の要約		一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)は、対馬市の市有林における森林施業計画区域の森林を対象として、モニタリング期間(2012年4月1日～2013年3月31日)における二酸化炭素吸収増大量を検証した。検証の結果、「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクトモニタリング報告書(第2回)Ver.1.1 国境の島対馬市の市有林における大陸とのつながりを示す多様な生態系の保全のための森林吸収プロジェクト ～連環した森・川・里・海の再生による環境王国・対馬の確立を目指して～」に記載された二酸化炭素吸収増大量 363 t-CO2は、「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクト計画書 Ver. 1.2」及び「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクト計画書別紙 モニタリング計画書Ver. 1.2」に基づいて算定されており、不確かさ及び誤りの合計値が0 t-CO2(二酸化炭素吸収増大量に対する割合:0%)となり、重要性の判断基準の5%未満であることから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。				

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。  
 ii 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること(この日を以て当該検証の開始日とみなす)。